

7 平成18年度予算案における主な見直し内容

(単位:千円)

項目	効果額	説明
1 事務事業の見直し	56,113	
しおさい、しらぎく会館管理委託	4,660	管理形態の見直し。直営(囑託) 民間委託
下水道汚泥処分委託料	8,782	セメント材料として再利用 30% 80%
コンピューターソフトリースの見直し	10,250	リース期間の再延長等
その他(13項目)	32,421	
2 人件費の抑制	155,503	
特別職	29,515	
(1) 議員(報酬カット、定数減)	28,746	報酬10%減、定数 18名 16名
(2) 市長	0	20%カット継続中
(3) 助役、教育長	0	15%カット継続中
(4) 農業委員会委員(定数減)	769	17名 13名(8月10日~)
一般職	125,988	
(1) 給与の削減	80,682	平均 4%
(2) 職員の減	45,306	6人減
3 指定管理者制度の導入	19,653	
体育施設	8,194	体育館、陸上競技場、温水プールほか
文化施設	11,301	市民会館、文化ホールほか
その他	158	日曜休日応急診療所
4 負担の適正化	2,282	
使用料等の改正等	2,282	
(1) 放課後児童クラブ使用料	330	8月分(月額3,500円 7,000円)
(2) 幼稚園使用料	1,920	月額13,000円 15,000円
(3) 旧水産高艇庫電気・水道料	32	ペーロン協会実費負担分
合計	233,551	

8 土地開発公社支援策

(単位:千円)

項目	効果額	説明
土地開発公社支援策	25,374	
資金貸付(10億円)	16,800	無利子で10億円の貸付。 民間からの公社借入金(1.49~1.73%)を 同額返済 (民間からの借入利子) 16,789,510円 (基金繰替運用利子) 1,000,000円
公社職員人件費負担金	8,574	公社の人件費負担を凍結

市の負担増は、8,574千円 + 繰替運用利子1,000千円の合計 9,574千円